

いずみ市民大学 教養学部

1 短歌から見る 近代日本の社会と人々



講師・コーディネーター
まつざわ しゅんじ
松澤 俊二

桃山学院大学提供講座
桃山学院大学
社会学部 社会学科准教授

明治期以降の和歌、短歌について研究してきました。個別的な歌の内容を考察すると同時に、その歌の内容を成り立たせる社会状況や同時代の思想や文化の解明にも取り組んでいます。

明治期以降の近代日本社会のなかで人々はどう生きてきたのでしょうか。本講座では、このことを短歌作品を通して理解することを目指します。各回テーマを設けて、それに関連する短歌を講師とともに読んでいきます。受講期間中、受講者にはそれぞれのテーマに関する短歌を収集してもらい、最終回は、それについて簡単な発表をしてもらおうと考えています。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全8回	4,400円 (8回分一括)	50名	木曜日	10:30~ 12:00	地下1階 多目的室

	日程	講義テーマ
1	11月10日(木)	ガイダンス/「すむ」歌について
2	11月24日(木)	「みる」・「きく」歌について
3	12月 8日(木)	「あいする」歌について
4	12月22日(木)	「うつる」歌について
5	1月 5日(木)	「おののく」歌について
6	1月19日(木)	「はたらく」歌について
7	2月 9日(木)	「たたかう」歌について
8	2月23日(木)	受講者の学習成果発表

2 高齢社会における 生前整理(終活)



講師・コーディネーター
ながみ ゆき
永水 裕子

満席

上智大学法学研究科博士後課程修了。専門は民法および医事法で、「はじめての医事法(第2版)」「共著」、「インフォームド・コンセントと医事法」(共著)、「生殖医療と医事法」(共著)、「小児医療と医事法」(共著)、「いのち、裁判と法」(共著)などがある。

今回は、所有財産の生前整理や生前贈与にかかる贈与税、老後資金やお墓、認知症に備えて何ができるのか、最後の段階における医療の話など、終活の話を具体例を交えてお話ししていきます。
※2023年度の春または秋に、この講座の続編「高齢社会における相続—具体的事例で学ぶ」を開講予定です。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全9回	4,950円 (9回分一括)	50名	木曜日	13:00~ 14:30	地下1階 多目的室

	日程	講義テーマ	講師
1	11月10日(木)	イントロダクション—講座の趣旨説明	永水 裕子
2	11月17日(木)	所有財産の生前整理(1) (不動産、借金・債務など)	税理士 關谷 雅彦
3	11月24日(木)	所有財産の生前整理(2) (預貯金、株、高額な不動産、保険など)	
4	12月 1日(木)	生前贈与・贈与税と相続税及び 関係する税金	司法書士 小山 哲史
5	12月15日(木)	住まい、老後資金、認知症に備えて	
6	12月22日(木)	葬式、墓、ペットについて	永水 裕子
7	1月 5日(木)	おひとり様の終活	
8	1月12日(木)	医療における事前指示	
9	1月19日(木)	知っておきたい相続の基本	桃山学院大学 法学部教授 花元 彩

3 『源氏物語』五十四帖を読む7



講師・コーディネーター
うめやま ひでゆき
梅山 秀幸

桃山学院大学提供講座
桃山学院大学 名誉教授

1950年生まれ。京都大学大学院博士課程修了。現在は桃山学院大学名誉教授。著書に『かくや姫の光と影—物語のはじめに隠されたこと—』、『後宮の物語』。訳書に『於于野譚』、『太平閑話滑稽伝』、『備前叢話』、『漢西野譚』など。

この講座は2019年度より始め、「桐壺」から「薄雲」までは読みすめました。2022年度の後期は「朝顔」から「初音」までを読む。

※進み具合により内容は変更する場合がございます。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全10回	5,500円 (10回分一括)	50名	月曜日	10:30~ 12:00	3階 学習室4

	日程	講義テーマ
1	11月 7日(月)	「朝顔」を読む(1)
2	11月14日(月)	「朝顔」を読む(2)
3	11月21日(月)	「少女」を読む(1)
4	11月28日(月)	「少女」を読む(2)
5	12月 5日(月)	「少女」を読む(3)
6	12月12日(月)	「玉鬘」を読む(1)
7	12月19日(月)	「玉鬘」を読む(2)
8	1月16日(月)	「玉鬘」を読む(3)
9	1月23日(月)	「初音」を読む(1)
10	2月 6日(月)	「初音」を読む(2)

※講座開講中の室内の温度管理には十分注意いたしますが、念のため衣服などで調整できるよう各自でご準備をお願いいたします。

4 幕末・明治維新の 英傑に学ぶパート2



講師・コーディネーター
きむら たけひと
木村 武仁

満席

1973年、京都市生まれ、國學院大学文学部卒業。『幕末のその日、京で何が起こったのか』、『ようわかるぜよ!坂本龍馬』、『図解で迫る西郷隆盛』など。テレビ出演は『歴史探偵』『英雄たちの選択』『歴史秘話ヒストリア』など多数。

近年、幕末史や明治維新史を再検証する動きが高まっています。新選組の副長として人気の高い土方歳三や将軍の御台所になった篤姫や和宮、ペリー来航時に老中首座を務めていた阿部正弘、いまだに謎の多い龍馬殺害事件など、幕末・明治維新期に活躍した英傑や組織、事件、戦争などにスポットを当て、様々なエピソードを紹介し、その知られざる実像、真相に迫ります。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全12回	6,600円 (12回分一括)	50名	月曜日	13:00~ 14:30	地下1階 多目的室

	日程	講義テーマ
1	11月28日(月)	土方歳三の実像 誕生から鳥羽伏見の戦いまで
2	12月 5日(月)	篤姫と大奥
3	12月19日(月)	皇妹・和宮の謎
4	12月26日(月)	老中筆頭・阿部正弘
5	1月16日(月)	坂本龍馬と中岡慎太郎 海援隊と陸援隊
6	1月30日(月)	坂本龍馬殺害事件の実像
7	2月 6日(月)	岩倉具視と王政復古の大王令
8	2月20日(月)	新選組と鳥羽伏見の戦い
9	2月27日(月)	大村益次郎と上野戦争
10	3月 6日(月)	河井継之助と北越戦争
11	3月13日(月)	榎本武揚と箱館戦争
12	3月20日(月)	農民、町人、江戸時代の暮らし

5 ギリシアの哲学者たち —哲学の原点にさかのぼる—



講師・コーディネーター
やまぐち よしお
山口 義久

大阪府立大学 名誉教授

京都大学・大学院で西洋古代哲学を学んだあと、昭和53年より大阪府立大学教員となり、平成28年に退職。その後宝塚大学副学長を3年務める。著書は「アリストテレス入門」(ちくま新書)など。

古代ギリシアに始まった哲学は、長い歴史の中で難しい用語や複雑な議論の衣をまとようようになり、簡単に理解できないものになったが、この講座では、ギリシア古典期の哲学者たちにさかのぼって、彼らが考えた様々な問題や、問題探求のやり方に目を向け、いわば哲学の原点について学ぶ。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全12回	6,600円 (12回分一括)	50名	月曜日	15:30~ 17:00	地下1階 多目的室

	日程	講義テーマ
1	11月14日(月)	タレスと彼の仲間たち 一七賢人から哲学者へ
2	11月21日(月)	ピュタゴラスと彼の学派 一教と調和による世界理解一
3	11月28日(月)	クセノパネスとヘラクレイトス 一人間としての探求一
4	12月 5日(月)	パルメニデスとゼノン 一ロゴスの追求一
5	12月12日(月)	エンペドクレスとアナクサゴラス 一世界説明の試み一
6	1月16日(月)	デモクリトスと原子論 一現象と真実の二重世界一
7	1月23日(月)	ソフィストたち 一教養教育の先駆者一
8	1月30日(月)	ソクラテス 一生き方についてのロゴスの追求一
9	2月 6日(月)	ソクラテスとプラトン 一生き方の哲学の継承と発展一
10	2月13日(月)	プラトン 一哲学の視点による総合的世界観一
11	2月20日(月)	アリストテレス(1) 一分析による論理の明晰化一
12	2月27日(月)	アリストテレス(2) 一ダイナミックな現実一

6 はじめよう!いのちをまもる防災アクション ~学ぶ・実行する・伝える~



講師・コーディネーター
ますだ ひろこ
増田 裕子

大阪公立大学 都市科学・
防災センター コーディネーター

大学では、先生方の知見や研究を市民の皆様にも有効に活用していただけるよう、また先生方が現場で研究しやすいよう、調整したり調和を図る仕事をしています。個人的には、概ね小学校校区を基本としたエリアで地域防災活動に携わっています。

防災対策が必要と多くの人が思っているものの、「つい後回しにしてしまふ」面が増えてしまったという人が多いのも事実です。防災を特別なものと考えず、無理なく継続できる小さなアイデアやアクションを積み重ねるために、和泉市に想定される災害と被害想定から考える対策と備えの「はじめの一步」を一緒に考えたいと思います。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全10回	5,500円 (10回分一括)	50名	水曜日	10:30~ 12:00	地下1階 多目的室

	日程	講義テーマ
1	11月 9日(水)	地震編 地震の基礎知識
2	11月30日(水)	地震編 事前の備えと対策① いのちをまもる家具の配置と固定
3	12月 7日(水)	地震編 事前の備えと対策② 生活の中で行う備蓄と工夫
4	12月14日(水)	地震編 地震発生から安全確保 揺れを感じたときにとる行動
5	1月18日(水)	地震編 避難生活から生活再建 避難生活場所の選択肢
6	1月25日(水)	地震編 目黒巻で高める災害想像力
7	2月 8日(水)	水害編 台風の基礎知識
8	2月15日(水)	水害編 台風以外の水害の基礎知識
9	3月 8日(水)	水害編 状況確認・避難判断・避難行動
10	3月15日(水)	水害編 マイ・タイムラインを作成しよう

往復はがきでお申し込みください。

【締切】
9/30(金)
必着

対 象 和泉市在住・在勤を問わず、どなたでもお申し込みいただけます。

申込方法 往復はがきに必要事項を記入の上、郵送にてお申し込みください。
窓口や電話でのお申し込みはできません。

※往復はがき1通につき、1講座の申し込みとなります。
複数講座を申し込みの場合は、講座数分の往復はがきが必要です。
※1通で複数講座や複数人数分の申し込みは無効となります。
※往復はがき以外での申し込みは無効となります。
※定員に達していない講座は10月5日(水)以降、窓口で受付いたします。

定 員 各講座 50名【定員を超えた場合は抽選】

※定員を超えた場合は、抽選を行い、補欠順位も抽選にて決定いたします。
10月4日(火)14時より和泉シティプラザ地下1階多目的室にて公開抽選会を行います。
※申込者が10名に満たない講座は不開講となります。
※申込多数の場合は講師と協議の上、上限72名まで可能な限り受講者を受け入れます。

申込手順

往復はがきで
申し込み(郵送)
締切9/30(金)

定員超の場合
抽選を行います。
10/4(火)

返信用はがきを
10/5(水)から
順次発送

返信用はがきが届きましたら、
ご持参の上、受講料を入金。
入金期限10/20(木)

※一旦納入された受講料は原則として講座中止の場合のほかに返金できませんのでご了承ください。
※講座申込後のキャンセルは各講座開講日の1週間前までとさせていただきます。
※10/20(木)までにご入金いただけない場合はキャンセルとさせていただきます。

往復はがきの
書き方(見本)

往復(おもて)	返信用(うら)	返信用(おもて)	返信用(うら)
☐ 往復 和泉市生涯学習センター宛 〒594-0041 和泉市いぶき野五丁目4番7号	☐ 返信 ※何も記入しないでください	☐ 返信 1.希望講座名 ※はがき1通につき1講座 2.住所 3.氏名(ふりがな) 4.生年月日 5.電話番号	☐ 返信 ※消せるボールペンは使用しないでください。

講座に関する最新情報は、和泉シティプラザホームページをご確認ください。
<http://www.izumicityplaza.or.jp>

受講カード
について

『いずみ市民大学』の受講生の方には
【ココロトリコイズミ生涯学習カード】を発行しております。

特 典

☆生涯学習センターの催物チケット優先販売(おひとり様2枚まで)
一般発売日の3日前より販売(但し、催物によっては適用のない場合もあります)
☆エコーいずみ協賛店舗での割引

ポイント加算

講義1回につき1ポイント(出席回数にかかわらず講義回数を加算)

有効期限

1年間(受講更新により、随時有効期限は延長されます)

※カードを紛失された場合は、再発行手数料100円が必要となります。



和泉シティプラザ
生涯学習センター

(受付時間 9:00~22:00)

0725-57-6661

〒594-0041 和泉市いぶき野五丁目4番7号

泉北高速鉄道「和泉中央駅」より徒歩約3分
駐車場230台 ※2時間まで無料。以降30分までごとに100円。
ご来場の際には、なるべく電車・バスなどをご利用ください。



この冊子は、3,000部印刷し、印刷単位は1部22円です。

令和4年度

いずみ市民大学

教養学部〔後期〕

各講座 50名
受講生募集!

市民の学習意欲の醸成、活力ある地域社会の実現とまちづくり活動を担う人材の育成を目的として「いずみ市民大学」を設置。学んだことを地域で生かす「まちづくり学部」と、自らの知識を広げる「教養学部」を併設しています。

締 切

往復はがき 9/30(金) 必着

- 短歌から見る近代日本の社会と人々
- 高齢社会における生前整理(終活)
- 『源氏物語』五十四帖を読む7
- 幕末・明治維新の英傑に学ぶ
- ギリシアの哲学者たち
- はじめよう!いのちをまもる防災アクション



※いずみ市民大学は学校教育法上の大学ではありません。市が行う生涯学習推進事業の名称です。